



1 教育基本法 (第二条) との関連

観点	特色	具体例
第1号 幅広い知識と教養を身に付け、 真理を求める態度を養い、豊かな 情操と道徳心を培うとともに、 健やかな身体を養うこと。	幅広い知識と教養を身に付けるために 「学習のねらい」から「活用して深めよう」までの課題解決型学習によって、 自ずと保健及び体育に関する知識を身に付けることができるようにしている。	各小単元
	豊かな情操と道徳心を培うために 運動やスポーツを行うことによる心身や社会性の発達への効果、思春期の 心の発達とその健康のあり方に十分な内容を用意し、情意機能の発達につ いて触れ、豊かな情操を育むように配慮し、欲求の充足が合理的になされ るようにしている。	p.38～49、 56～57 など
	健やかな身体を養うために 教科書のすべてを通じて、生涯にわたって健康を保持増進するための知識 や技能を育むことができる構成としている。	各小単元
第2号 個人の価値を尊重して、その能 力を伸ばし、創造性を培い、自 主及び自律の精神を養うととも に、職業及び生活との関連を重 視し、勤労を重んずる態度を養 うこと。	個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、自主及び自律の精神を養うた めに 意欲や意志を育て感情をコントロールすることの大切さや、発育・発達に は個人差があること、他人の立場を踏まえた個人の価値観を身に付ける重 要性を理解させ、どのような自己像をつくりあげるかを主体的に考えるこ とができるようにしている。	p.30～31、 34～37、38～39、 40～41、42～43、 44～45、56～57
	職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うために 個人の価値と生活習慣との関係が理解できるようにし、運動やスポーツ、 保健医療に携わる人々の仕事の内容について理解を深めることができるよ うにしている。	□絵 9～10、 p.40、42、146
第3号 正義と責任、男女の平等、自他 の敬愛と協力を重んずるととも に、公共の精神に基づき、主体 的に社会の形成に参画し、その 発展に寄与する態度を養うこと。	正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるために 障がいのある人たちを支援したり、スポーツボランティア活動をしたりす ることなどが大切であることの理解を深められるようにしている。 社会性について、話し合いを通じてさまざまな人と楽しむための工夫をし、 協力や協調ができる人間関係を築けるようにしている。 異性に対する理解と尊重を取り上げ、男女の平等と協力についての理解を 深めるようにし、社会性の形成の観点から自他の敬愛について思考できる ようにしている。	□絵 5～6、p.6～7 p.42～43、56～ 57 p.34～39、40～ 41、42～43
	公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する 態度を養うために 環境保全や公衆衛生活動について学習することを通じて、健康な社会に主 体的に参画するための公共的な視点を身に付けることができるように工夫 している。	p.140～141、 145～146、 156～163
	生命を尊ぶ態度を養うために 運動やスポーツを安全に行うための体調管理や、運動中に発生した傷害や 事故への対処のしかたなどについて身に付け、安全な運動の行い方を理解 できるようにしている。 人間の生殖の仕組みを取り上げ、体の成熟と生命の誕生を時系列で理解で きるようにするとともに、これから生まれてくる命を尊ぶ心を育めるよ うにしている。 交通事故や自然災害による傷害の防止に努め、応急手当の意義と方法、疾 病の予防について理解させ、かけがえのない自他の生命を尊重できるよ うにしている。	p.60～61、 104～115 p.34～37 p.90～117
第4号 生命を尊び、自然を大切に、 環境の保全に寄与する態度を養 うこと。	自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うために 環境汚染についての理解と対策のあり方を知ることにより、環境を保全す る態度を養えるようにしている。	p.160～165



観点別特色一覧

1 教育基本法 (第二条) との関連

観点	特色	具体例
第5号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛するために日本の伝統的な健康思想である「養生訓」を、受け継ぐべき健康づくりの思想として取り上げるとともに、 国際社会で活躍する日本人 の活動を取り上げている。	p.17、146、 中学校保健体育 WEB プラス
	他国を尊重し、 国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために 運動やスポーツの移り変わり、技術や戦術の変遷を取り上げ、ルールやルールの変更の歴史を学ぶことで 他国の文化に触れる ことができるようにしている。 オリンピック・パラリンピックや国際的なスポーツ大会が国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解させることで、 自らの国や文化を愛することと同様に他国の文化や国際社会を尊重する意識を形成 できるようにしている。	p.10～12 口絵7～8、 p.122～127、 130

2 学習指導要領との関連

観点	特色	具体例
学習指導要領の目標や内容との関連が十分図られているか。	学習すべき章全体の目標を明確にするとともに、各小単元の冒頭にそこで学習する課題を明示している。	各小単元
	学習指導要領に示されている内容のすべてについて、 教科及び各小単元の目標が十分達成 できるよう教材に工夫をこらしている。	各小単元
基礎的・基本的知識や技能の習得が図れるように配慮されているか。	各小単元の本文で 基礎的・基本的な学習内容をわかりやすい言葉で明示 し、学習すべき内容の確実な習得が図れるように配慮している。	各小単元
	まとまりのある本文・資料により、 生徒が授業前や授業後に自学自習を行いやすくな っている。	各小単元
	知識の定着を図るため、各小単元において キーワードで学習内容の振り返り をし、各章末では重要語句の再確認ができるようにしている。	p.14、28、53、 70、88、117、 129、148、166
	中学校保健体育 WEB には、各章の学習内容を振り返ることができる確認問題「まとめの問題」を用意 し、確実に知識を定着させることができるようにしている。さらに、WEB プラスでは「まとめの問題」に CBT (WEB テスト) 形式を採用し、効率的に知識の定着を図れるようにしている。	中学校保健体育 WEB・ WEB プラス
思考力、判断力、表現力等の育成が図れるように配慮されているか。	教科書全体で、 課題解決学習を通して、思考力、判断力、表現力等が育成される ように配慮している。	各章
	各小単元の、課題を発見する活動「つかもう」、課題を解決する活動「やってみよう」、「話し合ってみよう」、「調べてみよう」、学習したことを活かす活動「活用して深めよう」などのさまざまな活動により、 思考力、判断力、表現力等が総合的に育成される ように配慮している。	各小単元
	各章末の「学びを活かそう」では、その章で学習したことをより深く理解し、 生活に活かすための課題を設定 し、思考力、判断力、表現力等が育成されるように配慮している。	p.13、27、52、 69、87、116、 128、147、165
学びに向かう力、人間性等の涵養が図れるように配慮されているか。	口絵 では、生徒が保健体育を学習する重要性を理解し、自分のこととして捉え、主体的に学習に取り組む態度が養われるようにしている。	口絵 1～20
	導入の活動「つかもう」では、 生徒に身近な題材や自分の生活について取り上げる ことで、主体的に学習に取り組む態度を育むことができるようにしている。	p.4、16、 30 ほか

観点	特色	具体例
言語能力の育成が図れるように配慮されているか。	教科書全体で活動を通して、 思考したことを記述し、対話や発表をして他者に伝える ことで、コミュニケーション能力や論理的思考力が育成されるように配慮している。	各小単元
	第2学年の「喫煙、飲酒、薬物乱用のきっかけ」では、誘われたときの断り方を思考し、 ロールプレイング を行うことで、言語活動を通して他者とのかわりについて学べるように工夫している。また、危険な行動を避けるための明確な断り方を自ら考えさせることで、 コミュニケーションスキル を養えるようにしている。	p.83
道徳教育との関連が図られているか。	さまざまな人々が生きている社会のなかで、 お互いに認め合い、尊重し合うことの大切さ を実感することができるようにしている。	p.43、130、144 など
	生命尊重 について、中学生期が生命を生み出す体へと成熟しつつあるということを写真やイラストで理解を深められるようにし、 自他の生命を大切にする気持ち を育む学習を深められるようにしている。	p.34～37 など
	第1学年「思春期の心の変化への対応」では、心の変化について、小学生の頃の自分と比べる活動を行うことで、 自分の成長に気づく とともに、自分の成長を支えてくれた人々の存在に意識を向けることができるよう工夫している。	p.38～39
	教科書全体として、 生徒が自分を肯定的に捉えられるような表現 を用い、よいところを伸ばせるように工夫している。	各小単元
	活動では「 話し合ってみよう 」など グループで行うものを多く配置 し、友達の意見を聞いたり、認めたりすることができるように配慮している。	各小単元
体験活動の充実が図れるように配慮されているか。	照度計やガス採取器を用いた 実験 や、ストレスへの対処のしかた、心肺蘇生法などの 実習 などを数多く取り入れている。	p.47、51、106～113、151、153、155 など
情報活用能力・情報モラルの育成が図れるように配慮されているか。	健康や安全に関する 情報を適切に収集 し、集めた 情報から意思決定・行動選択 するために必要な力を育むことができるように配慮している。	p.12、99、143、153 など
	スマートフォンなどの普及で、より一層求められている 情報活用能力・情報モラル について、保健体育科として効果的に学習できるような特設ページを設けている。	口絵 13～14、中学校保健体育 WEB プラス
	第1学年「思春期の心の変化への対応」、第2学年「犯罪被害の防止」では、 スマートフォンや SNS 等を正しく利用 するために、行動のしかたや危険性などに触れた資料を掲載している。	p.39、97 など
	第1学年「休養・睡眠と健康」では、 コンピュータを使用する際の健康への影響 について触れた資料を掲載している。	p.23、26
	SNS などの インターネットを安全に利用するために大切な情報リテラシー について説明している。	p.40
	日常生活へ悪影響を及ぼす インターネット依存 に触れることで、インターネットの付き合い方について考えられるよう配慮している。	p.39、中学校保健体育 WEB プラス
問題発見・解決能力の育成が図れるように配慮されているか。	課題に対して切実感や興味・関心を持てるように、生徒が 実生活・実社会 で出会うような場面を設定し、健康や安全に関して 具体的・体験的な解決が図れる ようにしている。	各小単元



観点別特色一覧

3 指導計画と指導上の配慮

観点	特色	具体例
「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように配慮されているか。	本文ページと資料ページが明確に分けられているため、 学習内容の要素が見やすく、参照性が高くな っており、「 主体的・対話的で深い学び 」につながる活動が行いやすくなっている。	各小単元
	各章末の「 学びを活かそう 」で、 自らの課題を発見し、主体的に取り組むなかで、資料から読み取る、友達と話し合うなど、対話を通して思考を広げて深めていく活動等を通じて、深い学びが実現できるように配慮している。	各章
カリキュラム・マネジメントについて配慮されているか。	教科横断的な視点に立った資質・能力の育成が図れるように、社会、理科、技術・家庭など、 他教科に関連した題材 を適宜扱うとともに、他教科に関連していることが一目でわかるようマークで示している。 	p.20、30、32、34、98、140、150、152、154
	小中高の学習内容の円滑な接続のために、各章の章扉では、小学校、中学校、高等学校を通じた系統性のある学習ができるように、 小学校や高等学校の関連する学習内容 を示している。	p.3、15、29、55、71、89、119、131、149
	第1学年は、 本文等の読みやすい位置での改行 を行い、 小中接続時の学習 を円滑に進められるよう工夫している。	p.2～53
	第3学年の最後には、 高校生活に向けての生活の目標を書き込むスペース を設け、生徒が中学校保健体育の学習を終えて、これからどのような生活を送ろうと思うか考えられるようにしている。	p.167
キャリア教育に対応した指導ができるよう配慮されているか。	世界で活躍するアスリートや研究者の「健康に過ごすために気をつけていること」に関するメッセージを掲載し、 多様な立場の人々が社会で活躍していること を理解できるよう工夫している。	口絵9～10、中学校保健体育WEBプラス
特別支援教育の観点から、多様な生徒の特性に対応できるような配慮がされているか。	専門家の監修のもと、読みやすい、見やすい紙面となるよう本文ページと資料ページの明確な区別や、読みやすい位置での改行を実現、 ユニバーサルデザイン(UD)フォントを使用、カラーユニバーサルデザインを踏まえた配色を工夫 するなどして、特別支援教育やユニバーサルデザインに配慮している。 	各小単元
	拡大教科書を発行し 、弱視者に配慮している。	
人権、生命尊重についての配慮がされているか。	教科書全体を通して、 人権尊重、生命尊重の視点を踏まえた表現・記述 としている。	各小単元
保健体育の見方・考え方をはたらかせることができるよう配慮されているか。	各小単元の冒頭「学習のねらい」では、この時間の学習を通して解決したい学習課題(保健体育の見方・考え方をはたらかせて解決すべき課題)を明確に示している。 	各小単元
	各小単元の「話し合ってみよう」「活用して深めよう」などの活動では、 保健体育の見方・考え方 をはたらかせて深い学びにつながるようしており、生涯にわたって健康を保持・増進し、豊かなスポーツライフを実現する 資質・能力 が育まれるように配慮している。  	各小単元
	各章末の「 学びを活かそう 」では、学習を深め、生活に活かすため、思考力、判断力、表現力等が育成されるように配慮している。 	各小単元
防災・安全教育に対する配慮がされているか。	第2学年「 傷害の防止 」では、さまざまな 傷害の起こり方や自然災害の特徴 を理解し、それに対する 備え・身を守る方法を確実に身に付け、日常生活に活かせる よう工夫している。	p.89～117
	自然災害が 起こったとき被害を最小限にとどめるために 、自分自身が何をすべきか、どんな行動を取ればよいかを考えられるようにしている。	p.98～103
	家族との緊急連絡方法や避難場所について確認したり、非常持出用品についてチェックしたりできるようにすることで、 災害に対する備えを強く意識 できるようにしている。	p.103

観点	特色	具体例
家庭、地域社会との連携が図れるように配慮されているか。	家庭や地域において保健体育で学習したことを活用できるように、該当箇所「家」「地域」マークを設けている。  	p.6、25、96、103、124、145、163、164 など
	地域社会などでスポーツへ関わることや、健康を守るために地域で行われている活動についての知識を身に付けることができるようにしている。	p.6～7、126～128、140～141、145
	生徒の身近にいるさまざまな人々との交流の様子をイラストで示し、 地域の一人であることなどを意識できる ようにしている。	各小単元
伝統や文化に関する教育が図れるように配慮されているか。	武道の成り立ち、貝原益軒の「養生訓」、日本の伝統的な食文化である「和食」、日本生まれのスポーツなどを紹介し、 伝統・文化の尊重と郷土への愛の育成に配慮 している。	p.11、17、20、120、中学校保健体育 WEB プラス など
食育を含めた心身の健康の保持増進に関する内容の充実が図られているか。	教科書全体で生徒が 自分の食生活や健康に目を向ける ことができるよう配慮している。	各小単元
	健康を支える食事について特設ページを設け、食事の大切さについて興味・関心を高め、 毎日の生活の中で実践できる ようにしている。	□絵 11～12
	第1学年では、日本の 伝統的な食文化である「和食」を紹介 し、食事の楽しさや大切さを伝えている。	p.20
国際理解を深めるための内容が適切に示されているか。	国際的なスポーツ大会の写真やエピソードを多数掲載 している。	□絵 3～4、7～8 p.122～127、130 など
	医療、健康教育に携わる人々の紹介や 国際的な環境問題の提示 をすることで、国際的な視野を持つとともに社会の発展に寄与する態度を養えるようにしている。	p.146、165 など
	外国発祥のスポーツを紹介 して、外国の文化に対する興味を深められるようにしている。	p.10～12 など
安全に活動するための配慮がされているか。	教科書全体として、生徒が安全に活動できるように工夫している。	各小単元
課題解決のための学習の手順について、どのような創意・工夫がされているか。	1 単位時間 1 見開きを基本としたわかりやすいページ配分にし、 「学習のねらい」 （課題の把握：この時間の学習を通して解決したい課題） → 「つかもう」 （導入の活動：身の回りのこと、自分や友達の経験など、身近な疑問から学習をスタートする） → 「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」 （この時間の中心となる活動：本文・資料を活用しながら、いろいろな活動に取り組み、課題を解決する） → 「活用して深めよう」 （まとめの活動：学習したことを活用しながら、学びをより深める課題に取り組む） → 学習したことをまとめる。 → 毎日の生活に活かしていく。 の流れで学習が進められるよう構成している	各小単元
	知識の定着を図るため、各小単元に 「キーワード」 を設け、習得すべき基本用語の振り返りができるようにしている。	各小単元
	各章の章末には 「学習のまとめ」 があり、重要な言葉やまとめの問題を通して、生徒が自ら振り返り学習ができるようにしている。	各小単元



観点別特色一覧

4 内容の程度

観点	特色	具体例
内容の程度、分量は適切か。	学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携を総合的に考慮し、適切な単元配列となっている。	各小単元
	各章、小単元の学習は必要かつ十分なものを取り上げ、資料や知識は過剰にならないよう、発達段階と学年に応じて精選している。	各小単元
	単元内の活動は、授業時間を考慮しながら、知識・技能を定着させるように配慮している。	各小単元
個に応じた指導に対応できるよう配慮されているか。	各章の章末資料では、学習内容に関連する資料を掲載し、学習内容をさらに広げて知識を深められるよう工夫している。	p.10～13、26、50～51 など
	「ミニ知識」や「発展」などの読み物や資料で、個に応じて学習内容を深めることができるように配慮している。	各小単元
	まとまりのある本文・資料により、生徒が授業前や授業後に自学自習をしやすいようにしている。	各小単元
	正誤判定機能を搭載した CBT (WEB テスト) コンテンツを設け、効率的に個別学習を行えるようにしている。	中学校保健体育 WEB プラス
教科書の構成は、生徒の発達段階を踏まえたものになっているか。	著しい発達段階にある中学生の考え方や精神面及び能力を考慮して、発問の設定や文章の記述ならびに表現・表記を吟味し、生徒が主体的に無理なく学習できるようにしている。	各小単元
	単元の導入となる「つかもう」では、実生活を振り返る活動を随所に取り入れることで、前の学年からの学習内容の円滑な接続ができるようにしている。	各小単元

5 内容の組織・配列・分量

観点	特色	具体例
学習指導要領の内容をもれなく扱い、目標を達成できるよう構成・配列されているか。	教科書全体で、学習指導要領に則り、身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容をわかりやすく、より実践的に学習できるようにしている。	各小単元
教科書の構成は、系統性を踏まえたものになっているか。	全学年とも学習指導要領に則り、指導内容を体系化して、身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容をわかりやすく、より実践的に学習できるようにしている。	各小単元
地域・学校の実態に応じて、指導を行うことができるよう配慮されているか。また、指導計画は3学期制、2学期制にも対応しているか。	単元の学習内容を学習指導要領の項目に合わせ、1単位時間の学習内容をまとめているため、時期を問わず指導を行うことができるように工夫されている。	各小単元
	指導計画は、3学期制・2学期制に対応している。	各小単元
STEAM 教育につながる内容になっているか。	様々な分野の枠をこえ、問題を発見する力や課題を解決する力を育むために、理科などに関連する内容を掲載し、教科横断的な学習ができるように配慮している。また、学習を通して様々なグラフや統計資料を読み解く力を養うことができるようにしている。	p.25、30～35、98、140、150、152、154～155 など
GIGA スクール構想を視野に入れた構成や内容になっているか。	「コンピュータなどの使用による健康への影響」について、「注意」と「対策」を示している。	p.23、中学校保健体育 WEB プラス
	SNS などのインターネットの利用での防犯に関する記述やコンテンツがある。	口絵 13、96、97、中学校保健体育 WEB プラス
	学習をより理解したり、広げたりすることができるよう、ウェブコンテンツ「中学校保健体育 WEB」を用意し、対応するページにマークと二次元コードを付けている (31 箇所)。	p.14、21、28、47、53、70、88、97、103、107、108、109、111、113、114、117、121、124、129、146、148、166、169
	学習支援のための新たなコンテンツ集「中学校保健体育 WEB プラス」を設置し、昨今、多くの試験で導入が進んでいる CBT (Computer Based Testing) を意識した確認問題 (WEB 上で行うことができるテスト問題) やシミュレーション、動画、読み物、外部リンクなどを豊富に用意して、最新の情報を使って中学校保健体育の学習を進められるようにしている。	中学校保健体育 WEB プラス



観点	特色	具体例
SDGs や ESD に関係する内容も踏まえたものになっているか。	SDGs と関係の深い話題を数多く扱うことで、持続可能な社会の創り手の育成を目指している。	p.38、126、130、145～146、163～165、中学校保健体育 WEB プラスなど
熱中症に対する配慮がされているか。	熱中症の予防や応急手当についての資料を掲載し、 熱中症への備えや対応を身に付けることができる ように配慮している。	p.61、114～115、150～151、中学校保健体育 WEB プラス
オリンピック・パラリンピックについての取り扱いは工夫されているか。	オリンピック・パラリンピック の写真や資料を掲載することで、スポーツの価値、異文化や共生社会への理解を深めることができるよう、また、これまでのオリンピック・パラリンピックの感動とともに、それらへの理解を未来へ繋げていくことができるように配慮している。	口絵 3～4、口絵 7～8、p.8、119、122～125、130、中学校保健体育 WEB プラス
感染症について、どのように取り扱っているか。	保健編 5 章「健康な生活と病気の予防」の章を中心に、 感染症に関する豊富な資料を用意 している。	p.132～139、144
	世界中に広がった感染症の歴史や新型コロナウイルス感染症によって変化した生活様式、ワクチンの仕組みなど、 感染症に関する特設コンテンツを用意 している。	中学校保健体育 WEB プラス
他の発行物や周辺教材との相互関係は図られているか。	他教科に関する内容をマークで示している。	p.20、30、32、34、98、140、150、152、154 など
	グラフや表、統計資料には、出典元が示されている。	
	教科書に完全準拠したワークブック「中学校保健体育ノート」を発行している。	

6 表記・表現

観点	特色	具体例
表記・表現は適切か。	文章は生徒の発達段階を考慮して、 平易でわかりやすい表現 になっている。	各小単元
	取り上げる内容については十分に正確性に配慮するとともに、 読みやすい表現 になっている。	各小単元
イラストや写真、グラフ、表、参考資料等は、質・量ともに適切か。	イラストや写真は生徒の 学習意欲を喚起したり、興味・関心を引いたりする ようなものに厳選されている。	各小単元
	グラフや表は正確性に万全を期するとともに、生徒が 視覚的に捉えやすいよう工夫 している。	各小単元
	参考資料は 科学的根拠にもとづいた最新のデータ を採用し、学習の助けとなるものを提示している。	各小単元
文字の書体、大きさなどは適切か。	常用漢字、現代仮名遣いを原則 とし、教育漢字以外には、見開きページの 初出ごとにルビ をつけている。用語については、学術的に正確なもので中学生に合ったものを使用し、 重要語句は太字 にしている。	各小単元
	記号やマークは、生徒の発達段階に応じて興味・関心を引き、理解を助けることができるようなものとするとともに、 マークの名称も添えて それぞれの内容がわかるようにしている。	口絵 15～16
外国籍の生徒に対する配慮はされているか。	中学校で学ぶ漢字については、 見開き初出にすべてルビ を付けている。	各小単元
	イラストに様々な 外国籍の生徒が登場 し、日常生活に馴染んでいる。	p.43、49
	デジタル教科書（つばさブック版）では、AI 翻訳により多言語対応を実現し、読み上げ、リフロー機能が多言語で利用できることで、 外国にルーツを持つ生徒へ配慮 している。	各小単元
ジェンダー（社会的・文化的性差）について、どのような配慮がされているか。	教科書全体を通して ジェンダー（社会的・文化的性差）に配慮 するとともに、性別に関わりなく、その個性や能力を大切にすることができる社会の実現に取り組むことが大切であることを示している。	p.38
	生徒が活動する場面では、イラストなどは 男女が同人数 になるように配慮している。	各小単元
多様な性への配慮はされているか。	心や体の発育・発達には、「個人差」があることを強調 し、不安や悩みがあるときは相談できる窓口があることを示している。	p.30、34、38、47
	[LGBT] や [SOGI] について触れている。	中学校保健体育 WEB プラス



観点別特色一覧

7 印刷・製本

観点	特色	具体例
印刷は鮮明か。	印刷はソフトで、美しい仕上がりにしている。特に、写真やイラストについては、鮮明で美しく仕上げている。	全体的に配慮
表紙、紙質、製本などは適切か。	表紙は 丈夫で汚れにくい「UV ラミコート」 を施すなど、3年間の使用に十分耐える造本になっている。	全体的に配慮
	製本は、針などの使用がなく、生徒にとって 安全な「アジロ綴じ」 とし、 奥までよく開く ことができ、写真や図版等をきれいに見ることができるようにしている。	全体的に配慮
環境やアレルギーに対して配慮がされているか。	用紙は、自然保護のため 環境に配慮した紙 を使用している。	全体的に配慮
	化学物質に過敏な生徒に配慮 し、植物油インキを使用している。	全体的に配慮

8 デジタル教科書

観点	特色	具体例
授業の流れを止めない配慮がされているか。	SSO（シングルサインオン）機能を搭載し、 1タップ操作でログインできる ことにより、ストレスなく使い始められる設計にしている。	ログイン画面
	デジタル教科書ビューア（表示システム）とコンテンツの徹底的な軽量化を実施し、 低速度回線下においても高速軽快な動作 を実現している。	ページめくりやページジャンプ、動画を含むコンテンツ操作など、全体的に配慮
	「オフラインモード」機能を搭載し、 紙面を端末にダウンロード することができる。事前に必要な部分を読み込んでおくことで、課外学習等の場面においても生徒の学習権を保障できている。	全体的に配慮
生徒や先生が使う上で迷わない配慮がされているか。	文部科学省の定める標準仕様による「ナビメニュー」を搭載している。	全体的に配慮
特別支援に配慮されているか。	ビューアのツールボタンは「 アイコンとテキスト 」という構成にし、より多くのユーザーにとってのわかりやすさに配慮している。 	全体的に配慮
	ビューアに表示されるテキストは、 ユニバーサルデザインフォント、かつ学参に対応している書体 を選定することで、読みやすさに配慮している。	全体的に配慮
	総ルビ、読み上げ、色反転、リフロー、という特別支援機能を搭載 している。生徒の個性に合わせて教科書をカスタマイズできる。	全体的に配慮
	外国にルーツを持つ生徒の学習支援のため、 13カ国語のAI翻訳 により、読み上げとリフローを多言語化している。（多言語対応版に搭載）	全体的に配慮
主体的・対話的で深い学習を実現する配慮がされているか。	ペンツール を使って簡単に書いたり、教科書への書き込みを繰り返したりすることで思考を可視化できる。	全体的に配慮
	付箋ツール でメモを残したり、重要な箇所を隠して穴埋め問題を作って取り組んだりすることで、学習の理解が深まり定着を図ることができる。	全体的に配慮
	紙面の画像を切り取って ノートツール に貼ったり、ペンツールやキーボード入力で書き込んだりすることで、 自分だけのデジタルノート を主体的に作ることができる。	全体的に配慮
	先生から生徒にアンケートフォームを送って回収することができるなど、 指導者用デジタル教科書との連携機能 を搭載。評価に活用することもできる。	指導者用デジタル教科書と学習者用デジタル教科書の連携機能
先生の働き方改革に配慮がされているか。	指導者用デジタル教科書の 拡大掲示によって拡大印刷の手間を削減 できたり、 学習者用デジタル教科書のコンテンツにより教材作成の手間を削減 できたりするなど、授業準備を効率化することができる。	全体的に配慮
利用実態を把握できるように配慮がされているか。	デジタル教科書へのアクセス情報を含むログデータを解析し、結果をグラフや表などで提示する「 Analytics機能 」を搭載している。	全体的に配慮